
豚井物語(ライスバージョン)

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ライスパージョン
豚井物語

【Nコード】

N3076L

【作者名】

ごはんライス

【あらすじ】

くだらない！く・だ・ら・ぬ！！！！

ブタヲの書いた「豚井物語」が気に入らなかったので勝手に書き直した。

キャスト

客の女役：河野夜兎

お局様役：里芋ねえさん

???役：ごはんライス

!!!役：ブタヲ

夜兎は憂鬱であった。会社でいじめられているのだ。ドSのおばちゃん、宮田里子。このおばちゃんは陰険だ。夜兎は正社員である。だから、おばちゃんより所得が多い。だから、いやがらせをされるのだ。正直、うぜえ。仕事量が倍なのだから逆に代わってほしいくらいである。

朝、更衣室のドアを開けると上から黒板消しが落ちてくる。夜兎の頭は真つ白だ。

食堂の椅子に画ビヨウ。この前などコピーをとっていたら後ろから膝カックンされた。いまましい。この前など、ランドセルにマヨネーズをたっぷりかけられて教科書がめちゃくちゃになった。課長に言いつけてやろうかしら。

しかし、里子はパートのおばちゃんらの間ではボス的な存在である。簡単にいえば課長もビビツとるのである。

そんな夜兎の密かな楽しみは牛井屋で牛井を食うことである。最近、一杯150円セールをしてる。賃下げされた夜兎は大助かりだ。

「ごめんねえ。牛井売り切れちゃって」

「そ、そんなあ」

夜兎はがつくりである。しょうがを山盛り乗せてモリモリ食べようとしていたのに！

「豚丼ならすぐできるよ」

夜兎はあきらめた。

「じゃあ、豚丼でいいや」

「あいよ。おい。ブタヲ。コメヲ」

「あいよ。店長」

豚の着ぐるみをきたデブおっさんと、全身白タイツを着たデブおっさんが奥からやってきた。

「コメヲちゃん。今日もきれいだね。むふふ」

「あん。ブタヲさん。優しくね」

二人のデブおっさんは、カウンターに寝転び、抱き合った。キスをした。

「あん。すてき。ブタヲさん。あん」

豚おっさんは、コメヲの丰满な胸をもみまくる。

「はあはあ。コメヲちゃん。すてきだよ。すてきだよ」

夜兎はおええええと吐き出した。

ここから先は少年誌では無理です。てか、もうオレ書きたくねえ！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3076/>

豚丼物語(ライスバージョン)

2011年1月4日00時02分発行